

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、お問い合わせや修理を依頼される前に以下の点をご確認ください。

- 電池の接触不良はありませんか
- 電池の極性(+、-)は正しいですか
- 電池が消耗していませんか
- 製品本体、または被測定物の置かれている環境に強いノイズがありませんか
- 操作手順が取扱説明書の使用方法通りですか

以上の点を確認しても正常に作動できない場合、販売店にご連絡ください。

保証について

保証期間: 購入日より1年間(ただし保証期間内でも次の場合は保証できません)

- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変
- 取扱説明書によらない不適切な取扱い、使用上の誤り、保管方法が原因で生じた故障、異常電圧による故障
- 分解、改造での破損
- お買い上げ後の持ち運びや輸送の間に、落下させるなど異常な衝撃が加わって生じた故障
- その他当社の責任とみなされない故障
- お買い上げ年月日の証明できる伝票等のない場合

※上記に該当する場合は有償修理となります。

スーパールートチェッカー SRC-110

取扱説明書

このたびは、「スーパールートチェッカー SRC-110」をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

ご使用にあたっては本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

警告

- 絶対に活線に接続しないでください。感電、破損、発火、発熱の恐れがあります。
- 本器を改造したり分解しないでください。重大な事故の原因になる恐れがあります。
- 使用を開始する前に本器の外観構造に異常がないかを確認してください。

注意

- 雨中では危険ですので使用しないでください。
- 保管する場合は直射日光の当たらない所に保管してください。

使用上の ご注意

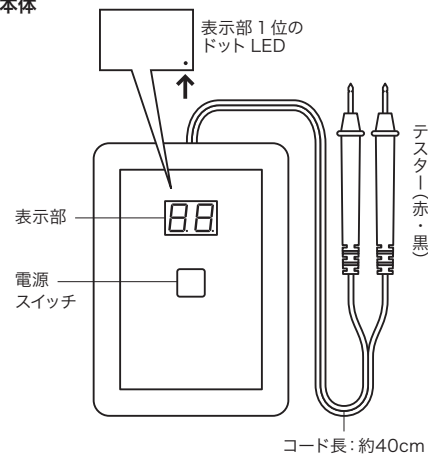
- 電池は付属しておりません。新しい電池をご用意ください。
- 本説明書に記載の用途以外には使用しないでください。
- ご使用前に本体とチェックターミナルを接続して正常に動作することを確認してください。
- 子供には手を触れさせないでください。
- 10日以上使用しない時は、乾電池を取り外してください。

特長

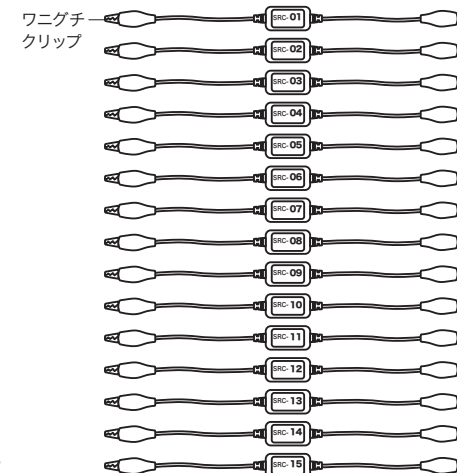
- 配線出入口の経路識別
- 一度に単相15回線まで識別(2芯ケーブルルートチェック)
- 一人で操作でき、省力化
- チェックターミナルの番号が、デジタル表示でわかりやすい
- 小型、軽量、持ち運びしやすい
- オートパワー・オフ機能(無操作約3分)
- 電池交換お知らせ機能

セット内容・各部名称

●本体



●チェックターミナル x15 (No.01 ~ No.15)



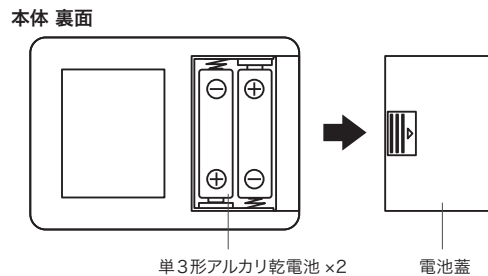
※電池は付属しておりません。新しい電池をご用意ください。

仕様

探 査 条 件	死線専用
表 示	7セグ LED 2桁
オートパワーオフ機能	無操作約3分で電源オフ
電池交換お知らせ機能	表示部1位のドットLEDが点滅
使用温度範囲	0°C～40°C(80%RH以下)
サイズ(本体のみ)	幅105×奥行き26.4×高さ75mm(テスター、コード除く)
質 量	160g(乾電池含む)
使用電池	単3形アルカリ乾電池 x2

電池のセット・交換方法

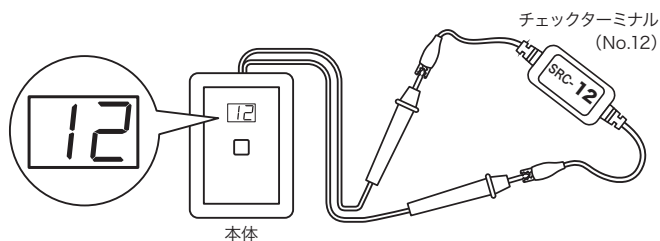
- 電池は付属しておりません。ご使用時には新しい電池をご用意ください。
- 本体裏面の電池蓋を外し、電池の＋を合わせてセットしてください。
- ご使用にならない時は、電源をオフにしてください。



- 注意**
- 表示部1位のドットLEDが点滅した場合は、新しい電池と交換してください。電池を交換する場合は、2個同時に交換してください。
 - アルカリ乾電池を使用してください。(充電電池は使用不可)

ご使用前の確認

- ① 本体の電源スイッチを3秒長押しし、電源を ON にします。
- ② 表示部1位のドットLEDが点灯します。LEDが点滅する場合は、新しい電池と交換してください。
- ③ 本体とチェックターミナルを接続します。チェックターミナルに記載されている番号と同じ番号が本体に表示されることを確認してください。(接続後3秒間だけ明るく表示し、その後暗くなります。) テスター(赤・黒)をショートした場合は、「0」を表示します。

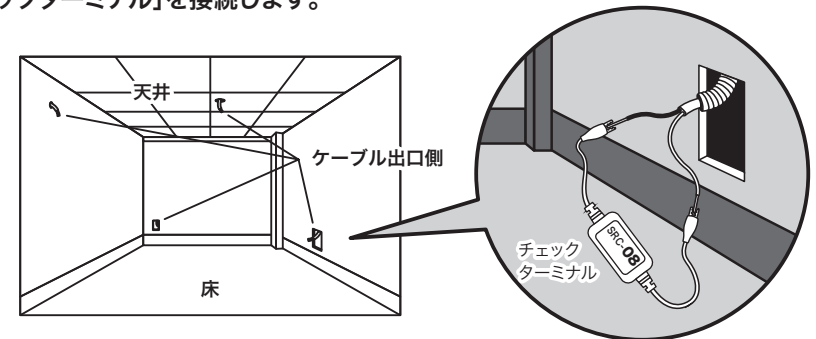


- ④ 電源スイッチを3秒長押しし、電源を OFF にします。

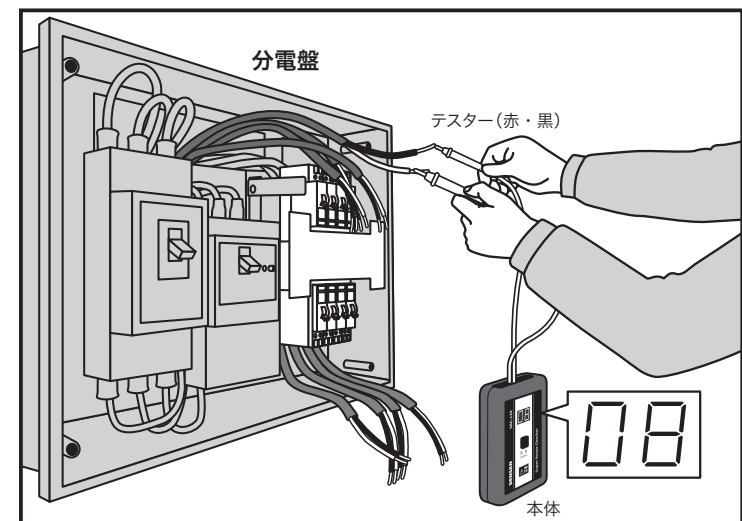
使用方法

- 注意**
- 配線経路が死線状態であることを確認してください。誤って活線に接続した場合、本体、チェックターミナルは破損します。
 - 主線から複線に分岐配線されている場合は、主線にチェックターミナルを接続し、分岐線の出口に本体を接続してください。逆にすると正しい番号が表示されません。
 - 電源OFF後、5秒以内に再度電源スイッチを押しても電源ONにはなりません。

- ① 各室内に引き出された各々のケーブルの出口に「チェックターミナル」を接続します。



- ② 本体の電源スイッチを ON にします。
- ③ 分電盤の各々のケーブルに、本体のテスターを当て、表示部の番号を読み取り、経路の識別を行います。



- ④ 使用後は必ず電源を OFF にしてください。「チェックターミナル」の回収モレのないようにしてください。